

南海トラフ巨大地震の被害想定等について

現	<p>①京都府における地震被害想定（H20年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府域への影響が懸念される活断層（22断層）による地震及び東南海・南海地震について、地震被害想定調査を実施 ・活断層毎に震度、液状化危険度をGIS上で公開するとともに、人的被害及び建物被害の数量を公表 									
状	<p>②東日本大震災以後の地域防災の見直し部会等での議論等（H23年～）</p> <p>(1) 対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ巨大地震については、府内の被害想定は、府内最大と予想される花折断層帯の地震の被害想定を下回っていることから、新たな対策は不要 ・ただし、液状化などについては特有の事情も考慮する必要がある <p>(2) 被害想定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直下型地震については新たな知見がなく、被害想定の見直しは当面不要 ・国による南海トラフ巨大地震の被害想定（H24年度）の公表 									
等	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>死者・行方不明者</th> <th>全壊・焼失建物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全 国</td> <td>32,000 ～ 323,000 人</td> <td>940,000 ～ 2,386,000 棟</td> </tr> <tr> <td>京都府</td> <td>30 ～ 900 人</td> <td>2,500 ～ 70,000 棟</td> </tr> </tbody> </table> <p>※府における津波被害はなし。</p> <p>※都道府県単位での想定までしか示されておらず、国に対して、250mメッシュ単位のデータ提供を要請</p> <p>→国から液状化危険度のデータ及び市町村単位の被害想定データの提供がある見込み</p>		死者・行方不明者	全壊・焼失建物	全 国	32,000 ～ 323,000 人	940,000 ～ 2,386,000 棟	京都府	30 ～ 900 人	2,500 ～ 70,000 棟
	死者・行方不明者	全壊・焼失建物								
全 国	32,000 ～ 323,000 人	940,000 ～ 2,386,000 棟								
京都府	30 ～ 900 人	2,500 ～ 70,000 棟								



今 後 の 対 応 案	<p>① 液状化について</p> <p>国からの提供データを活用</p> <p>② 被害想定について</p> <p>国からの市町村単位の被害想定データ提供を基に、市町村別被害を算出</p>
----------------------------	--